

令和6年度 都島区政会議 第1回まちづくり・魅力部会での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	万博に向けて、京橋周辺に人がたくさん集まるイメージがある。しかし駅周辺には駐輪場が少なく、壊れて使えないものもある。駐輪場の整備はできないのか。 自転車は最寄りの便利な近いところに停めるので、離れたところに駐輪場を作っても利用してもらえない。	後藤委員 岡本委員	駐輪場は建設局が運営しており、区としても場所の確保などに努めているところです。駐輪場が壊れている個所についても、局と情報共有してまいります。	(当日回答のとおり)	防災地域活性
2	駐輪マナーについて、自宅の庭先に自転車を停めることが多いが、歩道が1.5mしかないところに自転車をとめるとベビーカーが通れなくなる。駐輪マナー啓発のポスターなどを掲示できないか。	吉村委員	駐輪問題は京橋だけではなく都市部全体の課題であり、建設局も苦心して場所の確保に取り組んでいるところです。区としても、局と連携して対策に取り組んでまいります。	(当日回答のとおり)	防災地域活性
3	外国人ホスピタリティアクションについて、外国人観光客は、都島にどのようなサービスや飲食店があるかわからない。商店街やいろいろなサービスをマッチングできるものあれば、商店街やまちも活性化され、観光客も喜ぶと思う。またその仕組みを使って、住民がこどもの習い事を探したりできる。いろいろな事業者と求めている方をマッチングさせるような基盤を区がつかれないか。	山野委員	令和5年度に外国人観光客のニーズを分析した。外国人観光客の関心は、伝統文化や人の温かさにもあったが、一番は食文化に関心が高かった。京橋周辺のまちの雰囲気や食事について、商店街や地元の商店、ホテルなどに協力いただき一緒にPRして、観光客が回遊しやすくなるよう取り組んでいきたい。 大阪城がインバウンド観光客の一番の人気スポットとなっているが、京橋は大阪城から近いので、関連付けてアピールしていきたいと考えています。	(当日回答のとおり)	政策企画
4	防災について、地域住民は簡易トイレが実際に何個保管されているのか知っているのか、圧倒的に数が足りない。 停電すると避難所である学校の水も止まってしまう。電気がなければ、あらゆるインフラは使えなくなる。これは10年に一度の大規模災害を経験した防災リーダーしか理解できない。なんとか防災リーダーを通じて伝承していきたい。内代では、区防災担当に協力してもらって発電機14台、アルミベントを備えた。防災の取り組みは地域によって差がある。防災について区役所との連携をもっと密にとる必要がある。	吉村委員	トイレ問題とライフラインの確保について、大阪市全体としても問題意識をもっており、各区役所に一定数を調達し、避難所となる学校にも追加で配備する取り組みを進めています。また、電気・水道が止まった場合に備え、発電機や水の備蓄などを進めています。地域と区役所の連携は非常に重要と考えており、地域防災リーダーや災害救助担当の方と連携をとりながら、地域の防災力を高めるよう進めてまいります。	(当日回答のとおり)	防災地域活性
5	防災スピーカーについて、区に何台あるのか、数が不足していないか。また放送が聞き取れない。	後藤委員	防災スピーカーは、都島区内に10～13台設置しています聞き取りにくいというご意見について、防災アプリやメールシステムでのテキスト配信といった取り組みも進めています。防災スピーカーの音質について、危機管理室と周波数や声の高さについて検証を行ってきました。その結果、女性の声が一番聞き取りやすいことがわかりました。少しでも聞こえやすいように改善を進めています。	防災スピーカーについて、正しくは都島区内に16か所設置	防災地域活性

令和6年度 都島区区政会議 第1回まちづくり・魅力部会での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
6	町会の加入数が減っていると感じる。町会でご近所の顔見知りを作っておかないと何かあったときに困る。うちの地区の地域活動協議会では、若い世代に加入してもらおうと「潮干がり」を行っている。バス6台連ねていく人気の事業だが町会加入につながらない。どうしたらよいか。	尾柳委員	町会加入者の減少は都島区だけではなく市全体の課題であることから、令和6年3月に「大阪市町会加入促進戦略」が策定され、令和8年度までに町会加入率をあげていく取組を行うこととなりました。これを受け都島区では、地域の方々に見えをいただきながらアクションプランを今年度策定する予定です。これまでの取組の充実を図るとともに、皆さんから意見をいただき有効な施策を推進したいと考えています。町会の魅力や、町会加入することのメリット・つながり、防災的にも有効であることなどを示して若い世代に関心をもていただきたいと考えています。	(当日回答のとおり)	市民協働
7	部会の日程について、今回と次回9月しか決まっていない。これでは部会の意義である専門的な意見交換を行うことによって効果的かつ効率的な議論に資することはできないのではないか。各テーマの現状についてもよく分からず部会で議論するテーマを決めて議論するのではもったいない。今後の対応として、委員に議論したいテーマについて事前にアンケートをとるのはいかがでしょうか。その上でふさわしいテーマを区役所が選ぶことにはどうか。そうしないと浅い議論となり時間ももったいない。都島区はとても住みやすいまち、もっと住みやすさの魅力を区民に理解してもらって享受してもらえよう、発信・サポートしてはどうか。あらたなミッションを増やすのではなくこれまでの取り組みなどをコーディネートすることで安全安心なまちにつながるのではないかと。	花田委員	部会のテーマの設定方法について、前回開催の際に委員の方々からの発案でテーマを選定いただきましたので、前回同様、区役所からの押し付けではなく、広く委員のみなさんの意見をいただく形といたしました。部会開催については、9月以降については決まっていないので、資料に記載しておりませんが、来年度の9月の任期終了までに複数回開催しご意見をいただいております。都島区が住みやすいまちだということを理解していただけるような取り組みを進めていきたいと考えております。	(当日回答のとおり)	政策企画
8	地震や水害対策も重要だが、感染症対策についてはどう考えているのか。パンデミックは10年に1度発生すると言われていた。次まであと5年しかない。次にコロナのようなパンデミックが起こった際の区役所のオペレーションはどうなっているのか。この会議に出席されている方は、それなりに意識の高い方たちだと思うが地域住民全体の意見ではない。住民の意見を汲み取る仕組みはどうなっているのか。LINEでは直接つながるとか、情報を共有したり意見を言えたりしないのか。	下影委員	防災担当では感染症対策の初動体制をできるだけ早くをとれるよう健康局保健所の研修に参加して、体制づくりを進めています。また研修内容を区役所職員全体で共有できるよう取り組んでいます。避難所での感染症対策については、感染症罹患の疑いがある方は別室で暮らせるよう避難所となる学校と連携を進めています。医薬品の備蓄については、健康局と保健所で備蓄を進め、それを区からリレーする体制を進めています。より多くの区民の方からご意見をいただく方法として「市民の声」制度があり、投書やメールをいただいております。また、区民アンケートとして年2回、1500名の区民の方にアンケートを送付しています。その他、出前講座の各メニューで事業の説明を行い、ここでもご意見をいただいております。LINEにつきましても、興味関心があるカテゴリーを選び登録いただきましたら、その関連情報を得る取り組みを行っておりますが、発信専用となっております。	(当日回答のとおり)	防災地域活性化 政策企画
9	部会で議論するテーマについて、「外個人ホスピタリティアクション」が良いと思う。道頓堀のまちが、コロナ前・後どのように変わってきたか、外国人観光客がどのように変わってきたかをみてきた。京橋を第2の道頓堀のようにしていきたいと思っているのか。都島区は住みやすく、落ち着いた雰囲気のある、ファミリー層が多いまち。これを道頓堀のようにしていくのは議論がわかるところだと思う。外国人向けにわざわざPRを行わなくても外国人は日常に魅力を感じている。例えば、外国では路上での飲酒を禁止しているところが多いが日本はOKなので喜んでる。コンビニの前で飲酒してごみを放置しているケースもある。誘致はいいが、ごみ箱の設置などの対策も必要だと考える。そういうインバウンド誘致の全体像を見たいと思う。	屋宮委員	単に外国人観光客を誘致すればいいわけではありませんので、インバウンド観光客がきていただくにあたっての対策、受け入れ体制、どこにプロモーションを行うかなど全体計画は非常に重要だと考えています。万博開催に向けて、昨年度・今年度・来年度の3か年で取り組みを進めていく予定です。昨年度一定の情報を得ましたので、今年度はPRを行って、お越しいただいたときに京橋を回遊しやすくするような取り組みを進めてまいりたいと考えております。	(当日回答のとおり)	政策企画

令和6年度 都島区区政会議 第1回まちづくり・魅力部会での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
10	商店街の役員をしていますが、現状商店街は飲食店街になりつつある。商店街は消滅はしないが衰退はしていくと思う。どこの商店街もカーネーション・アーケードを設置しているが、飲食店街では維持するのが難しい。いずれは普通の道路になってしまう。京橋は乗降客数が大阪駅・天王寺について大きいですが、夜がメインの商店街となっている。ゆくゆくは衰退していくのではないかと考えている。頑張っていきたい。	岡本委員	京橋駅は1日の乗降客数が50万人おられ人流はありますが、乗り換え、通勤通学などで素通りされることが多いです。これを商店街や商工会議所と連携してまちなかに出てきていただけるような取り組みも考えていきたいと思っています。		政策企画
11	都島は非常によいところで、住んで満足している。特に桜の季節は大川沿いがとても美しくたくさんの方がごられ非常に喜んでる。しかし、桜が終わると閑散としてしまう。何も無い。自動販売機しかない。ちょっとした飲食物をおいてある休憩スペースがあればいいと思う。中之島公園のようにキッチンカーが常時あるなど、にぎわいがあればいいと思う。	菱池委員	川沿いのにぎわい創出について、なかなか店や施設の設置にはつながりませんが、桜ノ宮ビーチや淀川沿いでのイベント時にキッチンカーを呼ぶなど売り上げが一定確保できる仕掛けをしていきたいと考えています。枚方市と民間事業者の方々が連携して継続的に大きなイベントを実施している事例もあります。事業的になりたつことがお示しできれば、将来的に周辺に常設の店舗や休憩場所の設置の流れもでてくると考えています。		政策企画
12	資料②の万博機運醸成について、以前の会議で東京オリンピックでの取り組みを紹介され、意見を求められたが、プロジェクトマッピングなどの取り組みはどうなっているのか。 区政会議はライブ配信を行っているとのことだが、あまり見られていないのでは。再放送や都島区のYouTubeチャンネルやSNSで、区政の取り組みや区政会議での意見・回答を編集して流せばよいのではないかと。若い方向けに発信することが必要だと思う。若い方は動画を中心に情報を得ている。HPに議事録を掲載しているが、若い方は字をなかなか読まない。	高野委員	プロジェクトマッピングについては、事業を検討する中で費用が非常にかかることがわかったことから、現時点では実施計画はありません。今後のシティドレッシングをどのように行うかは検討中です。 区政会議の動画配信について、都島区では会議に出席されていない方にも出席者と同様に議論を共有していただくことを目的にライブ配信を開始しました。若い方への発信方法については今後検討いたします。	(当日回答のとおり)	政策企画
13	そもそも町会に加入されている方が少なく、防災リーダーに若い方が選出されない。町会以外での防災リーダーの募集について区役所でも考えてほしい。	荻上委員	(当日回答なし)	災害時に 地域防災リーダーが十分に活躍できる環境づくりを進めるため、活動内容を広く区民に知っていただけるよう、周知に取り組みます。 また、令和6年度中に区広報紙、区ホームページ、SNS等により、地域防災リーダーの活動の周知をはじめ、町会以外での防災リーダーの募集についても、今後、さまざまなご意見をお聞きし、検討してまいります。	防災地域活性化
14	部会で議論するテーマについて、町会加入について取り組むのが良いと思う。区長会議で3月に方向性がでて令和8年までの目標値を定めた。この部会には実際に加入されている方、いろいろと活動されている方がおられるので、幅広い議論ができると思う。	花田委員	区アクションプランには、主に地域と協働して進めていく取組を記載したいと考えています。これから区役所が素案を作った上で地域の方々にご意見をいただき作り上げていきたいと考えています。現時点でお示しできるものはありませんが、秋には地域との合意を得られるような形をめざしておりますので、部会でご意見をいただくのであれば、少しお時間を頂戴したいと考えております。	(当日回答のとおり)	市民協働 政策企画

令和6年度 都島区政会議 第1回まちづくり・魅力部会での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
15	部会全員で1つのテーマで意見を出すと、委員の言いつばなしで終わってしまう。区役所との質疑応答ではなく我々が答えてもいい。テーマを2つか3つに絞って、それぞれが自分の興味のあるテーマで、5～6人単位でお互いに自分の知っていることを教えあい助け合う形がいいのではないか。	吉村委員	(当日回答なし)	いただきましたご意見を踏まえ、部会の運営方法、テーマの設定方法などを検討してまいります。	政策企画